

第二次霧島市総合計画(前期基本計画)総括シート

政策体系	政策No.	1	政策名	にぎわい(産業の活力あふれ、交流と賑わいが生まれるまちづくり)					施策幹事課	
	施策No.	2	施策名	強みを生かした企業誘致と雇用の促進					商工振興課	
計画期間(2018年度～2022年度)における施策の方針 (総合計画書から引用)								関係課		
<p>本市の持つ地理的特性を生かした工業用地の確保や情報通信環境等の整備を推進するとともに、高等専門学校や大学等が市内に立地していることによる人材確保面での優位性を生かした積極的な企業誘致活動を展開し、活力ある産業基盤を形成します。</p> <p>また、企業、ハローワーク及び教育機関等の様々な主体との連携を強化し、市民が安心して働き、安定的な暮らしを送ることができるよう、多様な働き方を支える環境づくりに努めます。</p>								DX推進課、長寿・障害福祉課、観光PR課、学校教育課		
施策の方針に対する達成状況(2018～2022)					後期計画における課題					
<p>■積極的な企業誘致活動を展開し、地域経済の活性化や雇用の創出・拡大に取り組んできた結果、2018年度からの5年間で32件の立地協定を締結し、635人の新規雇用の創出が図られた。新たな工業団地整備に向けて、国分上小川地区を産業導入地区として「農村地域への産業の導入に関する実施計画書」を策定し、霧島市土地開発公社が造成に着手した。</p> <p>■霧島市雇用対策協定に基づき、ハローワーク国分との連携体制のもと、多様な就労ニーズに応じた求人対策を実施することで雇用機会の創出が図られた。</p> <p>■高校生や大学生等を対象に、地元企業の合同企業説明会や工場等見学会等を開催したことにより、市内就職率は、直近では上昇に転じている。</p> <p>■市光ブロードバンド整備計画に基づき、概ね市内全域で整備が完了し、情報通信環境の整備が図られた。</p> <p>■中・高校生やその保護者、教職員を対象に企業見学会や地元企業経営者による立志講話、霧島しごと維新事業を通じて、地元企業と生徒等の相互交流が図られた。</p> <p>■事業所情報を集約した障がい者のための「就労支援ガイドブック」を活用し、情報の共有と支援の強化に取り組んだことで、障害福祉サービス利用者が増加するなど、就労機会の創出に繋がった。</p>					<p>■企業ニーズに沿った新たな工業団地を計画的に整備するとともに、企業立地に適した用地の情報収集に努める必要がある。情報通信関連業をはじめ、時代に対応した業種・業態の誘致に努める必要がある。</p> <p>■人材不足業種や中山間地域における事業者と求職者とのマッチング支援や、女性・若者・高齢者等に対する就職支援など、安定した雇用環境づくりに更に取り組む必要がある。</p> <p>■新規学卒者の市外流出に歯止めをかけるため、更に市内就職の促進や産学官連携によるインターンシップの推進を図る必要がある。</p> <p>■障がいのある方が安心して働くことができる、多様な働き方を支える環境づくり。</p>					
成果指標 (意図の達成度を表す指標)		◎目標達成(100%以上) △目標を未達成(100%未満)								
		単位	目標達成の方向性	区分	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	達成率 結果
A	誘致企業の雇用者数	人	更なる増加を目指します	目標値	10,600	10,700	10,800	10,900	11,000	103.0%
				実績値	11,171	11,408	11,203	11,038	11,375	◎
B	立地協定締結件数(増設を含む)	件	更なる増加を目指します	目標値	4	4	4	4	4	225.0%
				実績値	2	7	8	6	9	◎
C	高校卒業時の地元就職率	%	更なる増加を目指します	目標値	32.5	35.0	35.0	35.0	35.0	110.0%
				実績値	36.9	34.3	31.1	34.2	38.4	◎
D	大学卒業時の地元就職率	%	更なる増加を目指します	目標値	18.5	23.0	23.0	23.0	23.0	50.0%
				実績値	9.0	11.8	7.6	12.7	11.5	△
E				目標値						
				実績値						
基本事業	5年間の取組内容			5年間の取組成果				後期計画における課題		
①企業誘致の推進	<p>■誘致企業等を訪問し、最近の業況や設備投資計画等の情報収集を行うとともに、フォローアップに努めた。</p> <p>■積極的な企業誘致活動を展開し、地域経済の活性化や新たな雇用の創出・拡大に努めた。</p> <p>■新たな工業団地の整備に向け、計画的に取り組むとともに、企業立地に適した用地などの情報収集に努めた。</p> <p>■市光ブロードバンド整備計画に基づき、年次的に整備を行った。</p>			<p>■5年間で新設14件、増設18件の立地協定を締結することができ、635人の新規雇用の創出が図られた。</p> <p>■国分上小川地区を産業導入地区として「農村地域への産業の導入に関する実施計画書」を策定し、霧島市土地開発公社が造成に着手した。企業立地に適した公共施設や民有地を含めた用地の確保ができた。</p> <p>■概ね市内全域で光ブロードバンドの整備が完了し、情報通信環境の整備が図られた。</p>				<p>■市単独の工業団地の不足による、新たな適地の選定。</p> <p>■企業ニーズに沿った新たな工業団地の計画的な整備。</p> <p>■企業立地に適した用地(公共施設や民有地を含む。)の情報収集。</p> <p>■情報通信関連業をはじめ、時代に対応した業種・業態の誘致。</p> <p>■サービス提供困難地域で光ブロードバンド利用の要望があった場合の電気通信事業者との調整。</p>		

基本事業	5年間の取組内容	5年間の取組成果	後期計画における課題
<p>②多様な人材を生かした雇用の促進</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■市雇用対策協定に基づき、ハローワーク国分との連携体制のもと、雇用確保に努めた。(人材不足業種や中山間地域の事業所と若者や子育て世代等の求職者とのマッチングを図るための合同説明会の開催、ハローワーク国分内設置の「生涯現役支援窓口」・「マザーズコーナー」による就職支援、子育て応援求人・高齢者応援求人・Uターン歓迎求人等の市HP啓発などを実施) ■高校生や大学生等を対象に、地元企業を知る機会を提供するとともに、新規学卒者の人材確保を図るため、合同企業説明(研究)会や工場等見学会を開催した。 ■2021年度に、高校生を対象とした市内企業へのインターンシップの送迎支援制度を設けた。 ■中・高校生やその保護者、教職員を対象に企業見学会(5年間で延べ49事業所等)や地元企業経営者による立志講話(全中学校で実施)、霧島しごと維新事業を実施した。 ■高齢者の就労機会を確保するため、シルバー人材センターに対する運営費補助を行った。市広報誌で同センターの取組内容等の掲載を行った。 ■障害者自立支援協議会(就労専門部会)で、障がい者就労の課題等について協議し、事業所情報を集約した障がい者のための「就労支援ガイドブック」を作成した。 	<ul style="list-style-type: none"> ■市雇用対策協定に基づき、ハローワーク国分との連携体制のもと、多様な就労ニーズに応じた求人対策を実施することで雇用機会の創出が図られた。 ■市内就職率は、高校生・大学生等ともに、新型コロナの影響により、採用の手控えや進学者が増えたことで下降傾向にあったが、直近では上昇に転じている。 ■高校生対象のインターンシップの送迎支援は、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、実施を見送る高校が多く、3校47人の実績となった。 ■中・高校生やその保護者、教職員を対象に企業見学会や地元企業経営者による立志講話、霧島しごと維新事業を通じて、地元企業と生徒等の相互交流が図られた。 ■シルバー人材センターの受託件数が、2022年度9,019件で計画期間最多となり、高齢者の就労機会の創出等が促進された。 ■「就労支援ガイドブック」を活用した情報の共有と支援の強化に取り組んだことで、障害福祉(就労)サービス利用者が2018年度比で152件増加するなど、就労機会の創出に繋がった。 	<ul style="list-style-type: none"> ■人材不足業種や中山間地域における事業者と求職者とのマッチング支援や、女性・若者・高齢者等の多様な就労ニーズに応じた就労支援など、安定した雇用環境の整備と雇用機会の確保促進。 ■新規学卒者の市外流出に歯止めをかけるための市内就職の促進。 ■産学官連携によるインターンシップの推進。 ■シルバー人材センターへの継続的な支援、高齢者と企業等のマッチング事業など関係団体と連携した高齢者の雇用促進対策。 ■障がいのある方が安心して働くことができる、多様な働き方を支える環境づくり。